

< 保健医療学域 >

母性看護学・助産学

b) 英文以外の論文

1. 川野亜津子, 江守陽子. 出産後 3 ヶ月までの母親における心理状態の縦断的調査. 母性衛生 52(4):464-471, 2012
2. 三木明子, 村井文江, 小池秀子, 江守陽子. 実務経験 20 年以上の看護師におけるキャリア・アンカーとキャリア継続要因. 第 42 回日本看護学会論文集: 看護管理 42:138-140, 2012

小児保健看護学

a) 英文論文

1. Wakimizu R, Hiraga N, Furuya K, Fukushima T, Tsuchida M, Koike K, Yamamoto T. Depression and health-related quality of life after discharge and associated factors in childhood cancer patients in Japan. *Biosci Trends* 5(6):264-272, 2011 doi: 10.5582/bst.2011.v5.6.264, 2012

b) 英文以外の論文

1. 涌水理恵. 障害児を養育する家族のエンパワメントに関する実態調査 重症心身障害と発達障害、異なる 2 つの障害群での比較・検討. 外来小児科 15(1):25-30, 2012
2. 涌水理恵, 日高紀久江, 森千鶴, 柴山大賀, 岡田佳詠. 特定機能病院から児が退院する際の"保護者の気がかり"と"医療者の説明・指導"の実態. 外来小児科 15(2):224-227, 2012

d) 英文以外の著書

1. 涌水理恵. 第2章. プレパレーション実践に必要な知識、チームで支える！子どものプレパレーション; "小児看護ベストプラクティス (初版)" (編集 及川郁子(監修), 古橋知子, 平田美佳), 中山書店 (東京) 2012; pp72-80

がん看護・緩和ケア

a) 英文論文

1. Sato M. Course of bowel symptoms and defecation following low anterior resection for rectal cancer. *Medicine and Biology* 156(8):569-584, 2012

b) 英文以外の論文

1. 佐藤正美, 日高紀久江. 排便障害を生じる直腸がん前方切除術後患者への看護ケアに関する文献的研究. 日本看護科学会誌 32(2):64-71, 2012

d) 英文以外の著書

1. 笹原朋代. 1章8節. チームアプローチ, 3章1節. 精神症状概論, 3章2節. 不安の治療と看護, 3章3節. 抑うつ治療と看護, 3章5節. 事例; "ナーシンググラフィカ 成人看護学⑦ 緩和ケア (第1版)" (編集 宮下光令), メディカ出版 (大阪) 2012; pp38-41, pp126-136, pp140-142

精神保健看護学

b) 英文以外の論文

1. 石橋寧子, 三木明子. 建築技術者の仕事の過重性の負担と精神健康との関連. 日本地域看護学会誌 15(1):71-78, 2012
2. 大森圭美, 森千鶴. 統合失調症における病識の関連要因—精神障害者観, 自尊感情, 認知的洞察の関連から—, 日本看護科学学会誌 32(3):25-34, 2012
3. 黒田梨絵, 三木明子. 看護職員におけるフィッシュ哲学の概念を基盤とした職場環境改善 自由記述の質的分析を通して. 産業ストレス研究 19(4):389-400, 2012
4. 黒田梨絵, 三木明子. 看護職員の仕事のポジティブ尺度の作成と信頼性・因子的妥当性の検討. 日本看護学会論文集: 看護総合 42:323-326, 2012
5. 黒田梨絵, 三木明子. 救命救急センターに勤務する看護師のプレホスピタルケアで経験する出来事と職業性ストレス フライトナースと救急看護師の比較を通して. 日本看護学会論文集: 看護管理 42:398-400, 2012
6. 指方明美, 佐川ひろ子, 上野典子, 湯本美穂, 船木加代, 森千鶴. 看護学生の倫理的感受性に影響する要因. 日本看護学教育学会誌 21(3):37-47, 2012
7. 妹尾鮎美, 三木明子. 看護師におけるメンタリング機能尺度の開発と信頼性・因子的妥当性の検証. 日本看護研究学会雑誌 35(2):55-61, 2012
8. 富永知美, 三木明子. 科学技術研究機関職員における職業性ストレスとコーピング特性が抑うつに及ぼす影響. 労働科学 88(2):39-48, 2012
9. 福田久子, 三木明子, 黒田 梨絵. 看護師におけるメンターの存在と職務満足との関係. 日本看護学会論文集: 看護管理 42:420-423, 2012
10. 前田和子, 三木明子. 他科経験のある看護師が認知した精神科特有の技術. 茨城キリスト教大学看護学部紀要 3(1):3-10, 2012
11. 三木明子, 黒田梨絵. 救急領域の現場で看護師が被る惨事ストレスの実態と影響. 日本看護学会論文集: 看護総合 42:108-111, 2012
12. 三木明子, 村井文江, 小池秀子, 江守陽子. 実務経験20年以上の看護師におけるキャリア・アンカーとキャリア継続要因. 日本看護学会論文集: 看護管理 42:138-140, 2012
13. 森里美, 堀畑佐知子, 足立貴代美, 松阪さよ子, 鈴木あきよ, 安仲恵, 嶋田ひとみ, 三木明子. 患者からの看護職員に対する暴力の実態調査 種類別に暴力被害の影響を検討して. 日本看護学会論文集: 看護管理 42:220-222, 2012
14. 森千鶴. 子どもの飲酒に影響する要因 中学生の親子実態調査から. 日本社会精神医学会雑誌

誌 21(1):10-21, 2012

15. 涌水理恵, 日高紀久江, 森千鶴, 柴山大賀, 岡田佳詠. 特定機能病院から児が退院する際の
"保護者の気がかり"と"医療者の説明・指導"の実態. 外来小児科 15(2):224-227, 2012

国際地域ケア

a) 英文論文

1. Anne T. Behavior changes in older persons caused by using wood products in assisted living. *Public Health Research* 2:106-109, 2012
2. Anne T. Parenting: Challenges, Practices and cultural influences from Japanese cohort study. *Nova Science Publishers* 14:225-232, 2012
3. Anne T, Shinohara R, Sugisawa Y, Tong L, Tanaka E, Tomisaki E, Watanabe T, Tokutake K, Mochizuki Y, Matsumoto M, Sugita C, Segal U. Health of School-Aged Children in 11+ Hours of Center-Based Care. *Creative Education* 3:263-268, 2012
4. Anne T, Shinohara R, Sugisawa Y, Watanabe T, Tong L, Tanaka E, Tomisaki E, Mochizuki H, Tokutake K, Group JCS. Gender differences of children's social competence development from eighteen month to seven-year-old using interaction rating scale (IRS). *Psychology of Gender Differences*:55-66, 2012
5. Anne T, Sugisawa Y, Shinohara R, Matsumoto M, Watanabe T, Tokutake K, Tomisaki E, Mochizuki H, Tanaka E, Okazaki S, Koeda T, Sadato N. Validity and Reliability of the Interaction Rating Scale between Children (IRSC) by Using Motion Capture Analysis of Head Movement. *Public Health Research* 42:2457-2478, 2012
6. Anne T, Tanaka E, Shinohara R, Sugisawa Y, Watanabe T, Tomisaki E, Segal U. Does night care affect development? A five-year follow-up. *Education* 2:143-147, 2012
7. Gan-Yadam A, Shinohara R, Sugisawa Y, Tanaka E, Watanabe T, Hirano M, Tomisaki E, Morita K, Onda Y, Kawashima Y, Tokutake K, Mochizuki Y, Nanba M, Anne T. Self-assessed health and its aspects in the case of Mongolia. *Health* 4:415-422, 2012
8. Shinohara R, Sugisawa Y, Tong L, Tanaka E, Watanabe T, Onda Y, Kawashima Y, Hirano M, Tomisaki E, Mochizuki Y, Morita K, Gan-Yadam A, Yato Y, Yamakawa N, Anne T. Influence of Maternal Praise on Developmental Trajectories of Early Childhood Social Competence. *Creative Education* 3:533-539, 2012
9. Tong L, Shinohara R, Sugisawa Y, Tanaka E, Yato Y, Yamakawa N, Anne T. Early Development of Empathy in Toddlers: Effects of Daily Parent-Child Interaction and Home-Rearing Environment. *Journal of Applied Social Psychology* 42:2457-2478, 2012

b) 英文以外の論文

1. 安梅勅江, 富崎悦子, 望月由妃子, 徳竹健太郎, 渡辺多恵子, 田中笑子, 篠原亮次, 杉澤悠

- 圭, 吳柏良, 難波麻由美, 松本美佐子, 杉田千尋, 松井勲尚, 多田 千尋. 子どものすこやかな発達と子育て支援への「木育」効果の活用可能性. 厚生の指標 59:21-25, 2012
2. 矢内悠里, 篠原亮次, 杉澤悠圭, 童連, 田中笑子, 森田健太郎, 富崎悦子, 平野真紀, 渡辺多恵子, 恩田陽子, 望月由妃子, 難波麻由美, 伊藤澄雄, 安梅勲江. 社会とのかかわりと認知症発症との関連性の研究. 日本保健福祉学会誌 18:21-28, 2012
 3. 渡辺多恵子, 磯貝恵美, 田中笑子, 富崎悦子, 恩田陽子, 望月由妃子, 徳竹健太郎, 齋藤希望, 安梅勲江. 高校生の安全なインターネット利用に関連する要因 インターネット利用の実態と共感性. 小児保健研究 71:38-45, 2012
 4. 渡辺多恵子, 田中笑子, 富崎悦子, 望月由妃子, 徳竹健太郎, 安梅勲江. クラウドを活用した園児への総合支援システムの開発 ヘルスリテラシーの視点から. 小児保健研究 71:780-786, 2012

d) 英文以外の著書

1. 安梅勲江. 第3章第4節. 障害児のための福祉サービス; "児童家庭福祉論 (第3版)" (編集 社会福祉学習双書編集委員会), 全国社会福祉協議会 (東京) 2012; pp94-116
2. 安梅勲江. 第3章第6節. 母子保健サービス; "児童家庭福祉論 (第3版)" (編集 社会福祉学習双書編集委員会), 全国社会福祉協議会 (東京) 2012; pp122-134
3. 安梅勲江. 第1章2. 根拠に基づく子ども支援—子育て・子育てエンパワメント—; "親から頼りにされる保育者の子育て支援 気になる子ども、気になる親も一緒に保育 (第1版)" (編集 芸術教育研究所), 黎明書房 (愛知) 2012; pp16-27

環境看護学

a) 英文論文

1. Kumasaka T, Masu H, Kataoka M, Numao A. Changes in Patient Mood through Animal-Assisted Activities in a Palliative Care Unit. *International Medical Journal* 19(4):373-377, 2012
2. Saeki Y, Miki A, Haginoya H, Kuroda Y, Kawaguchi T, Hoshino J, Hayashi K. Relationship between expression of laughter and relieving stress in nurses. *Proceeding of 13th International Congress of Behavioral Medicine* 175, 2012

b) 英文以外の論文

1. 白鳥和人, 日向野香織, 森博志, 本村美和, 川口孝泰. 相互目標設定による行動変容の誘導に重点を置いたビデオ対話と共有ブログ統合型遠隔看護システムの開発. 日本遠隔医療学会雑誌 8(2):162-165, 2012
2. 日向野香織, 柴山大賀, 白鳥和人, 森博志, 本村美和, 川口孝泰. 遠隔看護における看護介入法の効果 —相互目標の設定を用いて—. 日本遠隔医療学会雑誌 8(2):166-169, 2012

3. 本村美和, 川口孝泰. 【患者の高齢化と病棟の安全】 中規模病院の看護管理組織に求められる医療情報スキル. 病院設備 54(3):23-25, 2012

d) 英文以外の著書

1. 川口孝泰. 4章4. 遠隔医療・遠隔看護の背景と現状; "看護情報管理論 (第2版)" (編集 上泉和子, 太田勝正), 日本看護協会出版会 (東京) 2012; pp169-172
2. 菅野治重, 升秀夫他. 寄生虫検査; "顕微鏡検査ハンドブック (第 1版)", 医学書院 (東京) 2012; pp116-120
3. 熊坂隆行, 升秀夫他. 第II章. ヒトと動物の関係; "アニマルセラピー (第1版)" 本の泉社 (東京) 2012; pp31-66

リハビリテーション看護学・慢性看護学

b) 英文以外の論文

1. 佐藤正美, 日高紀久江. 排便障害を生じる直腸がん前方切除術後患者への看護ケアに関する文献的研究. 日本看護科学会誌 32(2):64-71, 2012
2. 涌水理恵, 日高紀久江, 森千鶴, 柴山大賀, 岡田佳詠. 特定機能病院から児が退院する際の"保護者の気がかり"と"医療者の説明・指導"の実態. 外来小児科 15(2):224-227, 2012

高齢者看護学

b) 英文以外の論文

1. 岡本紀子, 松田ひとみ. 初心者のための質的研究ナビゲーションー質的研究例(その 3). 高齢者ケアリング学研究会誌 3(2):37-41, 2012
2. 斉藤リカ, 松田ひとみ. 台湾の高齢者の昼寝習慣. 高齢者ケアリング学研究会誌 3(1):22-24, 2012
3. 杉本健太郎, 松田ひとみ. 高齢者の飲酒の概念分析と睡眠ケアにおける課題. 高齢者ケアリング学研究会誌 3(1):10-11, 2012
4. 橋爪祐美. 要介護高齢者を介護する勤労女性の精神的健康支援に関する研究:『私の介護ノート』を用いた女性の介護うつ予防プログラムの試行. 研究業績論文集 (公益財団法人 明治安田こころの健康財団(東京))47:172-184, 2012
5. 松田ひとみ. 日本の高齢者における自殺の概念分析と社会的支援体制の必要性. 高齢者ケアリング学研究会誌 3(2):15-26, 2012

臨床心理学

a) 英文論文

1. Maie T, Mizuno T. Content of picture books dealing with cancer. *The Asian Journal of Child Care* 3:29-40, 2012
2. Mizuno T, Tokuda K. Barrier-free situation at Yeosu International Exhibition -Focusing on the transportation environment for people with visual impairment and people in wheelchair. *The Asian Journal of Disable Sociology* 12:27-40, 2012
3. Tokuda K. Scope of study conducted for understanding special needs. *Journal of East Asian Studies* 3:1-7, 2012
4. Tokuda K, Mizuno T. Psychological difficulties demonstrated by young children who experienced the Great East Japan Earthquake and its aftershocks. *The Asian Journal of Child Care* 3:1-8, 2012
5. Tokuda K, Mizuno T, Nishidate A. Awareness and confusion of salespeople at department stores to customers who display behavioral characteristics which are different from normal people -As a material for considering shopping assistance for persons with developmental disabilities-. *The Asian Journal of Disable Sociology* 12:1-8, 2012

b) 英文以外の論文

1. 安心院朗子, 水野智美, 徳田克己. 若年脳損傷者の外出における主介護者の介護負担感. 日本公衆衛生雑誌 59(1):11-18, 2012
2. 白石晴香, 水野智美. 発達障害児への支援における養護教諭の認識と研修ニーズ. 障害理解研究 14:35-42, 2012
3. 徳田克己. 幼稚園の中にある「元気な子ども信仰」. 幼児の教育 111(2):13-16, 2012
4. 西館有沙, 徳田克己. 発達障害児の学校生活を描いた物語『架け橋』の内容分析—教員研修用教材としての活用の可能性を探る—. 全南大学東アジア研究所紀要 3:19-24, 2012
5. 水野智美. 親を不安にさせる育児書のタイトル—1980年以降の育児書のタイトルの分析より—. 全南大学東アジア研究所紀要 3:33-39, 2012
6. 水野智美, 徳田克己. 家庭における幼児の童話・昔話離れ現象の実態. アジア子ども支援学研究 3:79-91, 2012
7. 水野智美, 徳田克己. 道徳副読本における障害の扱われ方の変化—2003年度版と2010年度版とを比較して—. 教材学研究 23:273-280, 2012
8. 水野智美, 西館有沙, 徳田克己. 発達障害に関する幼児の認識. 障害理解研究 14:1-10, 2012
9. 吉田映理子, 徳田克己. 発達障害児者とその家族が求める保育者及び教師に対するニーズ—ホームページ及びブログの内容に基づく分析—. 障害理解研究 14:73-82, 2012
10. 吉田映理子, 水野智美, 徳田克己. ウェブ上のホームページ及びブログの内容からみた発達障害児者とその家族のニーズ—一般社会に対するニーズを中心に—. 全南大学東アジア研究所紀要 3:53-60, 2012

d) 英文以外の著書

1. 徳田克己. 第1講. 現在の学校と子どもたち; "ここだけは押さえない学校臨床心理学 (第1版)" (編集 小林朋子, 徳田克己), 文化書房博文社 (東京) 2012; pp7-12
2. 水野智美. 第14講. 心理アセスメント; "ここだけは押さえない学校臨床心理学 (第1版)" (編集 小林朋子, 徳田克己), 文化書房博文社 (東京) 2012; pp118-126
3. 水野智美, 大越和美, 西村実穂. 第2章. 気になる子への対応; "具体的な対応がわかる気になる子の保育 (第1版)" (監修 徳田克己, 編集 水野智美), チャイルド本社 (東京) 2012; pp20-118

ヘルスサービスリサーチ

a) 英文論文

1. Ito T, Tamiya N, Takahashi H, Yamazaki K, Yamamoto H, Sakano S, Kashiwagi M, Miyaishi S. Factors that prolong the 'post-mortem interval until finding' (PMI-f) among community-dwelling elderly individuals in Japan: Analysis of registration data. *BMJ Open* 2(5): e001280, 2012
2. Nishi A, McWilliams JM, Noguchi H, Hashimoto H, Tamiya N, Kawachi I. Health benefits of reduced patient cost sharing in Japan. *Bull World Health Organ* 90(6):426-435A, 2012
3. Nishi A, Noguchi H, Hashimoto H, Tamiya N. Scale development of health status for secondary data analysis using a nationally representative survey. *Environ Health Prev Med* 17(3):252-257, 2012
4. Olivares-Tirado P, Tamiya N, Kashiwagi M. Effect of in-home and community-based services on the functional status of elderly in the long-term care insurance system in Japan. *BMC Health Serv Res* 12:239, 2012
5. Oyama Y, Tamiya N, Kashiwagi M, Sato M, Ohwaki K, Yano E. Factors that allow elderly individuals to stay at home with their families using the Japanese long-term care insurance system. *Geriatr Gerontol Int* doi: 10.1111/ggi.12002 ., 2012

b) 英文以外の論文

1. 柏木聖代. 【ケアの質評価の動向と課題】在宅サービスのアウトカム評価と質改善. 社会保障研究 48:152-164, 2012

臨床試験・臨床疫学

a) 英文論文

1. Ahmed S, Ahsan KB, Kippler M, Mily A, Wagatsuma Y, Hoque AM, Ngom PT, El Arifeen S, Raqib R, Vahter M. In utero arsenic exposure is associated with impaired thymic function in newborns possibly via oxidative stress and apoptosis. *Toxicol Sci* 129(2):305-314, 2012

2. Alam MS, Kato H, Fukushima M, Wagatsuma Y, Itoh M. Application of RFLP-PCR-Based Identification for Sand Fly Surveillance in an Area Endemic for Kala-Azar in Mymensingh, Bangladesh. *J Parasitol Res* 2012;467821, 2012
3. Ferdousi F, Alam MS, Hossain MS, Ma E, Itoh M, Mondal D, Haque R, Wagatsuma Y. Visceral Leishmaniasis eradication is a reality: data from a community-based active surveillance in Bangladesh. *Trop Med Health* 40(4):133-139, 2012
4. Hawkesworth S, Wagatsuma Y, Kippler M, Fulford AJ, Arifeen SE, Persson LA, Moore SE, Vahter M. Early exposure to toxic metals has a limited effect on blood pressure or kidney function in later childhood, rural Bangladesh. *Int J Epidemiol* doi: 10.1093/ije/dys215., 2012
5. Hidaka S, Ikejima C, Kodama C, Nose M, Yamashita F, Sasaki M, Kinoshita T, Tanimukai S, Mizukami K, Takahashi H, Kakuma T, Tanaka S, Asada T. Prevalence of depression and depressive symptoms among older Japanese people: comorbidity of mild cognitive impairment and depression. *Int J Geriatr Psychiatry* 27(3):271-279, 2012
6. Kanemoto A, Mizumoto M, Okumura T, Takahashi H, Hashimoto T, Oshiro Y, Fukumitsu N, Moritake T, Tsuboi K, Sakae T, Sakurai H. Dose-volume histogram analysis for risk factors of radiation-induced rib fracture after hypofractionated proton beam therapy for hepatocellular carcinoma. *Acta Oncol* doi: 10.3109/0284186X.2012.718094., 2012
7. Kippler M, Wagatsuma Y, Rahman A, Nermell B, Persson LA, Raqib R, Vahter M. Environmental exposure to arsenic and cadmium during pregnancy and fetal size: a longitudinal study in rural Bangladesh. *Reprod Toxicol* 34(4):504-511, 2012
8. Ma E, Sasazuki S, Sasaki S, Tsubono Y, Okubo S, Tsugane S. Vitamin C supplementation in relation to inflammation in individuals with atrophic gastritis: a randomised controlled trial in Japan. *Br J Nutr* doi: 10.1017/S0007114512002954., 2012
9. Oikawa A, Takahashi H, Ishikawa H, Kurishima K, Kagohashi K, Satoh H. Application of conditional probability analysis to distant metastases from lung cancer. *Oncol Lett* 3(3):629-634, 2012
10. Persson LA, Arifeen S, Ekstrom EC, Rasmussen KM, Frongillo EA, Yunus M, MINIMat Study Team(including Wagatsuma Y). Effects of prenatal micronutrient and early food supplementation on maternal hemoglobin, birth weight, and infant mortality among children in Bangladesh: the MINIMat randomized trial. *JAMA* 307(19):2050-2059, 2012
11. Saida T, Mori K, Sato F, Shindo M, Takahashi H, Takahashi N, Sakakibara Y, Minami M. Prospective intraindividual comparison of unenhanced magnetic resonance imaging vs contrast-enhanced computed tomography for the planning of endovascular abdominal aortic aneurysm repair. *J Vasc Surg* 55(3):679-687, 2012
12. Takano M, Okada M, Oka S, Wagatsuma Y. The relationship between HIV testing and CD4 counts at HIV diagnosis among newly diagnosed HIV-1 patients in Japan. *Int J STD AIDS* 23(4):262-266, 2012
13. Tanaka M, Ma E, Tanaka H, Ioka A, Nakahara T, Takahashi H. Trends of stomach cancer mortality in Eastern Asia in 1950-2004: comparative study of Japan, Hong Kong and Singapore

- using age, period and cohort analysis. *Int J Cancer* 130:930-936, 2012
14. Yoshimatsu S, Chisti MJ, Hossain MI, Islam MM, Fukushima T, Wagatsuma Y, Smith JH, Sumazaki R, Ahmed T. Hypophosphataemia among severely-malnourished children: case series. *J Health Popul Nutr* 30(4):491-494, 2012
 15. Yoshimatsu S, Hossain MI, Islam MM, Chisti MJ, Okada M, Kamoda T, Fukushima T, Wagatsuma Y, Sumazaki R, Ahmed T. Hypophosphatemia among severely malnourished children with sepsis in Bangladesh. *Pediatr Int* doi: 10.1111/j.1442-200X.2012.03724.x., 2012

b) 英文以外の論文

1. 山本駿, 高橋秀人, 和田一郎, 宇田晃仁, 馬恩博. 学級閉鎖の有効性に関する研究—新型インフルエンザ流行時の小学校におけるクラス内欠席者割合と実施日数より予測される学級閉鎖後の欠席割合—. 厚生指標 59(7):9-17, 2012

社会精神保健学

a) 英文論文

1. Matsumoto T, Matsushita S, Okudaira K, Naruse N, Cho T, Muto T, Ashizawa T, Konuma K, Morita N, Ino A. Sex differences in risk factors for suicidality among Japanese substance use disorder patients: association with age, types of abused substances, and depression. *Psychiatry Clin Neurosci* 66(5):390-396, 2012
2. Morita N, Nakajima S, Kazui M, Endo T, Goto M. Development of child-care workers' report checklist of post-traumatic symptoms related to child abuse in preschool children. *Acta Criminologiae et Medicinae Legalis Japonica* 78:104-106, 2012
3. Ogai Y, Chin F, Ikeda K. Assessment of craving to predict relapse in patients with substance abuse/dependence. *Advances in Psychology Research* 88:225-234, 2012
4. Sugaya N, Ogai Y, Kakibuchi Y, Senoo E, Ikeda K. Influence of GIRK channel inhibition on relapse risk in Japanese alcohol-dependent inpatients. *Japanese Journal of Neuropsychopharmacology* 32(3):165-167, 2012

b) 英文以外の論文

1. 合川勇三, 大谷保和, 森田展彰, 梅野充, 岡田直大, 池田朋広, 梅津寛, 妹尾栄一, 中谷陽二, 岡崎祐士. 東京都立松沢病院における第2次乱用期と第3次乱用期の覚せい剤関連障害入院患者の差違. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 47(2):57-67, 2012
2. 松本俊彦, 成瀬暢也, 梅野充, 青山久美, 小林桜児, 嶋根卓也, 森田展彰, 和田清. Benzodiazepines 使用障害の臨床的特徴とその発症の契機となった精神科治療の特徴に関する研究. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 47(6):317-330, 2012
3. 森田展彰, 幸田実, 梅野充, 池田朋広, 谷部陽子, 遠藤恵子, 阿部幸枝, 平井秀幸, 高橋康

二, 合川勇三, 妹尾栄一. 薬物乱用者の希死念慮の危険因子に関する研究. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 47(1):24-38, 2012

d) 英文以外の著書

1. 森田展彰. 第28章. 親が暴力をふるう; "中高生のためのメンタル系サバイバルガイド (第1版)" (編集 松本俊彦), 日本評論社 (東京) 2012; pp156-160
2. 森田展彰. 第9章. アタッチメントの観点からみた物質使用障害の理解と援助; "アタッチメントの実践と応用—医療・福祉・教育・司法現場からの報告— (第1版)" (編集 数井みゆき), 誠信書房 (東京) 2012; pp169-181
3. 森田展彰. 心理社会的治療, ダルクや自助グループ活動との連携, 暴力などトラウマ問題を抱えた薬物事例に対する心理社会的援助; "精神科救急医療ガイドライン(規制薬物関連精神障害) 2011年度版" (編集 日本精神科救急学会, 医療政策委員会), へるす出版 (東京) 2012; pp65-72, pp72-80, pp86-90
4. 森田展彰. 窃盗癖, 覚醒剤依存症・メチルフェニデート(リタリン)依存症, 有機溶剤依存症; "今日の精神疾患治療指針" (編集 樋口輝彦, 市川宏信, 神庭重信, 朝田隆, 中込和幸), 医学書院 (東京) 2012; pp233-236, pp623-624, pp628-629
5. 森田展彰. パーソナリティ障害および暴力、アルコール・薬物の問題; "虐待を受けた子どものケア・治療" (編集 奥山真紀子, 西澤哲, 森田展彰), 診断と治療社 (東京) 2012; pp134-150, pp151-164

法医学

a) 英文論文

1. Honda K. The Ashikaga case of Japan -Y-STR testing used as the exculpatory to free a convicted felon after 17.5 years in prison. *Forens Sci Int Genet* 6:e1-2, 2012
2. Kaminiwa J, Honda K, Sugano Y, Yano S, Nishi T, Sekine Y. Vanadium accelerates polymerase chain reaction and expands the applicability of forensic DNA testing. *J Forensic Leg Med* doi: 10.1016/j.jflm.2012.09.006., 2012

b) 英文以外の論文

1. 神庭純子. 連載・初学者のための『看護覚え書』・32. 総合看護 47(1): 17-24, 2012
2. 神庭純子. 連載・初学者のための『看護覚え書』・33. 総合看護 47(2):17-24, 2012
3. 神庭純子. 連載・初学者のための『看護覚え書』・34. 総合看護 47(3): 19-26, 2012
4. 神庭純子. 連載・初学者のための『看護覚え書』・35. 総合看護 47(4): 5-12, 2012
5. 瀬江千史, 本田克也, 小田康友. 次代を担う看護学生・医学生への 医学概論教育講座36. 総合看護 47(1):59-75, 2012

6. 瀬江千史, 本田克也, 小田康友, 北条亮. 次代を担う看護学生・医学生への医学概論教育講座37. 総合看護 47(2):33-45, 2012
7. 瀬江千史, 本田克也, 小田康友, 北条亮. 次代を担う看護学生・医学生への医学概論教育講座38. 総合看護 47(3):33-48, 2012
8. 瀬江千史, 本田克也, 小田康友. 次代を担う看護学生・医学生への医学概論教育講座39. 総合看護 47(4):63-73, 2012
9. 萱野幸子. 古代ギリシャ哲学, その学び方への招待(8). 学城 9:34-60, 2012
10. 萱野幸子. 『新・頭脳の科学』とは何か. 総合看護 47(2):5-16, 2012

福祉医療学・国際社会医学

a)英文論文

1. Nakahara S, Tomio J, Nishida M, Morimura N, Ichikawa M, Sakamoto T. Association between timing of epinephrine administration and intact neurologic survival following out-of-hospital cardiac arrest in Japan: a population-based prospective observational study. *Acad Emerg Med* 19(7):782-792, 2012
2. Tanaka N, Kanamori T, Saitou H, Yano H, Okuno J, Yanagi H. Improvement of muscle strengths and gait ability among chronic post-stroke patients by gait training with a foot-pad type locomotion interface. *J Nov Physiother* S1:002, 2012
3. Tanaka N, Saitou H, Takao T, Iizuka N, Okuno J, Yano H, Tamaoka A, Yanagi H. Effects of gait rehabilitation with a footpad-type locomotion interface in patients with chronic post-stroke hemiparesis: a pilot study. *Clin Rehabil* 26(8):686-695, 2012

b)英文以外の論文

1. 稲田晴彦, 小林廉毅, 富田守, 太田信隆. 選定療養(時間外診療)導入が一自治体病院の救急外来受療率に与えた影響. 医療経済研究 23(2):95-106, 2012
2. 後藤亮平, 田中直樹, 内藤幾愛, 斉藤秀之, 柳久子. 廃用症候群についての文献的考察 — 包括的評価指標作成に向けて—. 高齢者ケアリング学研究会誌 3(1):16-28, 2012
3. 鈴木育子, 奥野純子, 柳久子. 要支援在宅高齢者の身体機能評価と通所サービスに求められるケア. 高齢者ケアリング学研究会誌 2(2):1-13, 2012
4. 高尾敏文, 奥野純子, 柳久子. 慢性期脳卒中片麻痺患者に対する歩行練習プログラムの動向 — 体重負荷トレッドミル歩行練習を中心に—. 高齢者ケアリング学研究会誌 2(2):14-28, 2012
5. 田中直樹, 斉藤秀之, 飯塚陽, 矢野博明, 奥野純子, 柳久子. 維持期脳卒中患者に対する歩行感覚提示装置を用いた歩行トレーニング効果の持続性. 理学療法科学 27(2):123-128, 2012
6. 渡邊大貴, 田中直樹, 金森毅繁, 斉藤秀之, 長澤俊郎, 小関迪, 山海嘉之, 柳久子. ロボットスーツHAL® (Hybrid Assistive Limb®)福祉用の臨床応用にむけた症例研究. 理学療法科学 27(6):723-729, 2012

保健医療政策学・医療経済学

a) 英文論文

1. Hoshi SL, Kondo M, Okubo I. Cost-effective policy option in launching a community-based pneumococcal vaccination program among the elderly in Japan. *Ageing Research* 4:53-60, 2012
2. Hoshi SL, Kondo M, Okubo I. Economic evaluation of vaccination programme of 7-valent pneumococcal conjugate vaccine to the birth cohort in Japan. *Vaccine* 30(22):3320-3328, 2012
3. Kondo M, Hoshi SL, Ishiguro H, Toi M. Economic evaluation of the 70-gene prognosis-signature (MammaPrint®) in hormone receptor-positive, lymph node-negative, human epidermal growth factor receptor type 2-negative early stage breast cancer in Japan. *Breast Cancer Res Treat* 133(2):759-768, 2012
4. Kondo M, Ono M, Nakazawa K, Kayaba M, Minakuchi E, Sugimoto K, Honda Y. Population at high-risk of indoor heatstroke: the usage of cooling appliances among urban elderlies in Japan. *Environ Health Prev Med* doi: 10.1007/s12199-012-0313-7, 2012
5. Kondo M, Yamagata K, Hoshi SL, Saito C, Asahi K, Moriyama T, Tsuruya K, Yoshida H, Iseki K, Watanabe T. Cost-effectiveness of chronic kidney disease mass screening test in Japan. *Clin Exp Nephrol* 16(2):279-291, 2012
6. Kondo M, Yamamura M, Hoshi SL, Okubo I. Demand for pneumococcal vaccination under subsidy program for the elderly in Japan. *BMC Health Serv Res* 12:313, 2012
7. Sugimoto K, Likhvar V, Okubo I, Yinlong J, Honda Y. Analysis of relation between temperature and mortality in three cities in China by using lag model: A comparison of Harbin, Nanjing and Guangzhou. *Minzoku Eisei* 78:16-26, 2012
8. Takada M, Sugimoto M, Naito Y, Moon HG, Han W, Noh DY, Kondo M, Kuroi K, Sasano H, Inamoto T, Tomita M, Toi M. Prediction of axillary lymph node metastasis in primary breast cancer patients using a decision tree-based model. *BMC Med Inform Decis Mak* 12:54, 2012
9. Takada M, Sugimoto M, Ohno S, Kuroi K, Sato N, Bando H, Masuda N, Iwata H, Kondo M, Sasano H, Chow LWC, Inamoto T, Naito Y, Tomita M, Toi M. Predictions of the pathological response to neoadjuvant chemotherapy in patients with primary breast cancer using a data mining technique. *Breast Cancer Res Treat* 134(2):661-670, 2012
10. Yamagishi K, Sato S, Kitamura A, Kiyama M, Okada T, Tanigawa T, Ohira T, Imano H, Kondo M, Okubo I, Ishikawa Y, Shimamoto T, Iso H, CIRCIS Investigators. Cost-effectiveness and budget impact analyses of a long-term hypertension detection and control program for stroke prevention. *J Hypertens* 30(9):1874-1879, 2012

b) 英文以外の論文

1. 近藤正英. ヘルスサービス提供計画の分析ツール—SWOT分析とGunnの完全実施の条件. 日本公衆衛生雑誌 59:415-417, 2012

2. 近藤正英. 【医学教育と公衆衛生学】 イギリスにおけるPublic health教育. 医学教育 43(3):177-180, 2012
3. 曾根稔雅, 中谷直樹, 遠又靖丈, 相田潤, 大久保一郎, 大原里子, 大淵修一, 杉山みち子, 安村誠司, 鈴木隆雄, 辻一郎. 介護予防サービス利用者における日常生活の過ごし方と要介護認定等の推移との関連. 日本衛生学雑誌 67(3):401-407, 2012
4. 新小田春美, 末次美子, 加藤則子, 浅見恵梨子, 神山潤, 内村直尚, 樗木晶子, 西岡和男, 大久保一郎, 松本一弥, 南部由美子, 加来恒壽. 幼児の遅寝をもたらす親子の睡眠生活習慣の分析. 福岡医学雑誌 103(1):12-23, 2012
5. 山岸良匡, 大久保一郎, 佐藤眞一, 北村明彦, 木山昌彦, 岡田武夫, 谷川武, 大平哲也, 今野弘規, 近藤正英, 石川善紀, 嶋本喬, 磯博康. 長期的な脳卒中予防対策に関する費用効果分析 自治体の視点から見た分析. 日本循環器病予防学会誌 47(3):223-230, 2012